

令和6年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験 第2次選考試験 模擬授業の実施について【中学校国語】

1 模擬授業の内容について

(1) 模擬授業①について

- ・ 中学校第一学年において、書写の指導するとき、下記の資質・能力を育成するための授業を構想し、本時の導入の模擬授業を行う。

【育成を目指す資質・能力】

- ・ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。

〔知識及び技能〕(3) エ (イ)

(2) 模擬授業②について

- ・ 下記の単元を指導するに当たり、単元の導入を模擬授業として行う。
- ・ その際、「単元の目標」を踏まえ、資質・能力を育成するために効果的な言語活動を設定して提示すること。

単元名 第2学年 表現を工夫して書こう (全3時間)

単元の目標

- ・ 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。

〔知識及び技能〕(1) カ

- ・ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕B(1) ウ

- ・ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしていって、思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力、人間性等」

2 実施方法について

- (1) 説明会場にて、模擬授業の説明を受ける。その後、試験会場へ移動し、模擬授業を行う。
- (2) 模擬授業①②は、それぞれ入室から退出まで約8分間で行う。そのうち、受験者が模擬授業を行う時間は5分以内とする。

入室後、指定された位置に立ち、志願種別と受験番号を言う。試験委員の「はじめてください」の合図で、模擬授業を開始する。

- (3) 掲示物等の提示や黒板への記入等を行わず、口頭のみで模擬授業とする。掲示物や書写に活用する道具、板書等、あるものと想定して模擬授業を行っても構わない。

- (4) 持ち込み可能なものは、2次試験前に準備したメモ（A4サイズ1枚）のみとする。
2次試験当日までにメモを作成して、メモを見ながら授業を行っても構わない。
メモは評価の対象とはしない。提出は不要とする。

【メモについて】

- ・ A4サイズ1枚（両面使用可）とする。
- ・ 授業案、口述原稿など、模擬授業に必要な内容を自由に書いてよい。
- ・ 本や教材などをコピーしたものでも可。
- ・ メモを道具（教材）と見立てて示したり、黒板等に掲示したりすることはできない。

- (5) 模擬授業①②では、試験委員を生徒と想定して模擬授業を行う。ただし、試験委員とのやり取りは一切できない。